

令和2・3年度市町村立美術館活性化事業 第21回共同巡回展

板橋区立美術館・豊島区所蔵

池袋モンパルナス

—画家たちの交差点—

企画内容

《企画趣旨》

1920年代以降、池袋界隈には芸術家向けのアトリエ付き住宅が建ち並び、家賃が安かったこともあり、そこには北海道や沖縄など日本各地から上京した芸術家たちが集い、いくつかの「アトリエ村」と呼ばれる一画が形成されていきました。この地域においては、芸術家たちが暮らし、制作するだけでなく、芸術家同士等の交流も盛んに行われ、切磋琢磨しながら新たなアートシーンを生み出す情熱溢れる場所でした。他にはない独特の雰囲気醸し出していたその様子は、パリの芸術家の街になぞらえて「池袋モンパルナス」と呼ばれています。

令和2・3年度市町村立美術館活性化事業第21回共同巡回展では、池袋モンパルナスに関連した1920年代から1940年代を象徴する作品を生み出した画家をはじめ、当時流行していたフォービズムやシュルレアリスム絵画を試みる画家たちのほか、官展で活躍する画家たちなど会派を越えた様々な画家を5章構成で紹介します。

本展では、板橋区立美術館・豊島区所蔵の池袋モンパルナスに関連する絵画コレクションを筑西市（茨城県）、瀬戸市（愛知県）、酒田市（山形県）において展覧するものです。アトリエ村に関する資料や池袋モンパルナスを行き交った画家たちの戦前から戦後の作品を通じて、画家たちの交流と情熱を感じていただくとともに、池袋モンパルナスについての理解を深めていただければ幸いです。

《展示する作家・作品点数》

- 鶴田吾郎
- 長谷川利行
- 北川民次
- 里見勝蔵
- 福沢一郎
- 吉原義彦
- 田中佐一郎
- 小熊秀雄
- 春日部たすく
- 竹中三郎
- 難波田龍起
- 井上長三郎
- 森田茂
- 入江比呂
- 齋藤求
- 平澤熊一
- 野田英夫
- 吉井忠
- 柿手春三
- 今井繁三郎
- 大野五郎
- 斎藤長三
- 小川原脩
- 浜松小源太
- 寺田政明
- 古沢岩美
- 桑原実
- 松本竣介
- 麻生三郎
- 真鍋(金子)英雄
- 佐田勝
- 大塚睦
- 樽松正利
- 高山良策
- 山下菊二
- 桂川寛

出品作家 36名（生年順） ・ 巡回作品 86点 ・ 映像 3点

《展覧会の構成の概要》

序章

- ・ 池袋モンパルナスとは

1章

- ・ 池袋モンパルナスと小熊秀雄

2章

- ・ 画家たちが描いた肖像画・風景画

3章

- ・ 池袋モンパルナスの画家たち

4章

- ・ 池袋モンパルナスと開催館ゆかりの画家

・池袋モンパルナスとは

1920年代以降、池袋界隈には芸術家向けのアトリエ付き住宅が建ち並び、家賃が安かったこともあり、そこには北海道や沖縄など日本各地から上京した芸術家たちが集い、いくつかの「アトリエ村」と呼ばれる一画が形成されていきました。この地域においては、芸術家たちが暮らし、制作するだけでなく、芸術家同士等の交流も盛んに行われ、切磋琢磨しながら新たなアートシーンを生み出す情熱溢れる場所でした。他にはない独特の雰囲気醸し出していたその様子は、パリの芸術家の街になぞらえて「池袋モンパルナス」と呼ばれています。



さくらが丘パルテノン
1948年 樽松正利氏提供

池袋モンパルナスに夜が来た
学生、無頼漢、芸術家が街に
出る
彼女のために、神経をつかへ
あまり太くもなく、細くもない
ありあはせの神経を――。

小熊秀雄「池袋モンパルナス」
(『サンデー毎日』第17年第37号1938年7月31日)

・池袋モンパルナスと小熊秀雄

第1章では、北海道から上京し、この地に暮らした詩人の小熊秀雄（1901—1940）に注目し、小熊の描いた絵画や素描を紹介し、彼が暮らしていたアトリエ村の風景や池袋駅周辺の街のにぎわいの様子を紹介します。



小熊秀雄 《夕陽の立教大学》
1935年 油彩、キャンバス

豊島区蔵



小熊秀雄 《長崎アトリエ村》
1930年代 インク、紙

豊島区蔵

・ 画家たちが描いた肖像画・風景画

第2章では、池袋モンパルナスの雰囲気や全貌をご理解いただくため、画家たちが互いを描いた肖像画から交友を紹介するとともに、アトリエ村などの風景画をとおして池袋モンパルナスの情景を紹介します。戦時中から戦後という激動の時代の変遷もご覧ください。



吉井忠 《長谷川利行》
1968年 油彩、キャンバス

豊島区蔵



春日部たすく 《池袋駅前豊島師範通り》
1928年 水彩、紙

豊島区蔵

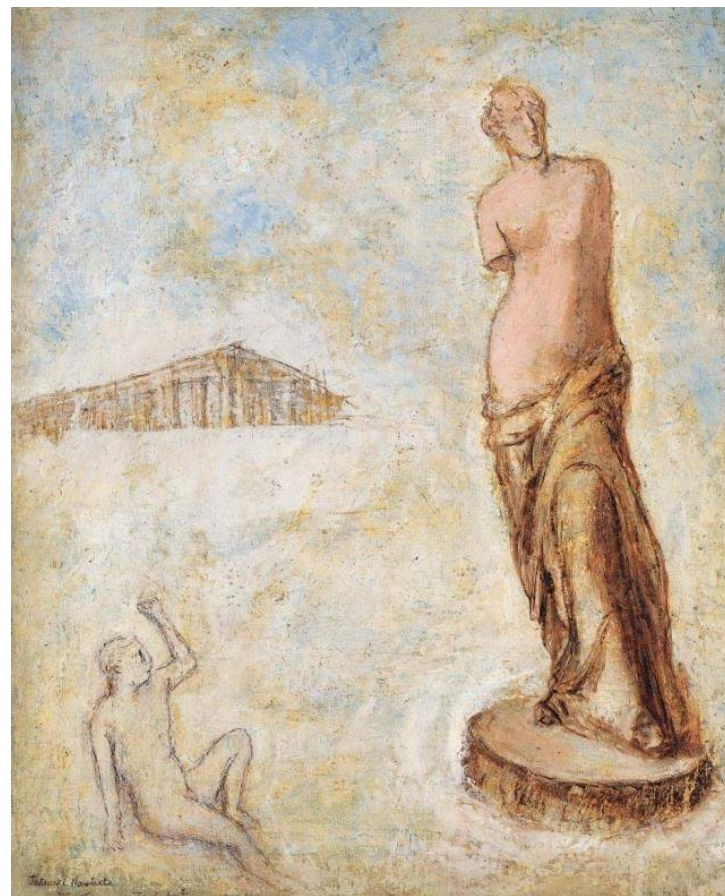
・池袋モンパルナスの画家たち

第3章では、池袋美術家クラブ、独立美術協会、美術文化協会、新人画会などに参加していた画家を中心に、様々な作家が会派を越えて池袋モンパルナスに関わっていたことや、戦前から戦後の激動の時代の中で芸術に情熱を注いでいた様子をご覧ください。



長谷川利行 《水泳場》
1932年 油彩、キャンバス

板橋区立美術館蔵



難波田龍起 《ヴィナスと少年》
1936年 油彩、キャンバス

板橋区立美術館蔵

・ 池袋モンパルナスと開催館ゆかりの画家（1）

池袋モンパルナスには全国各地から上京してきた画家たちが暮らしていたことが大きな特徴として挙げられますが、彼らの中には戦後も池袋や地価の安かった板橋等に転居し、東京で制作を続けた者もいれば、故郷に帰り活躍した者もいます。今回は開催館ごとに地域に根差した池袋モンパルナスにゆかりのある作家を紹介します。

■ しもだて美術館：森田茂



森田茂 《黒川能(知盛)》
1987年 油彩、キャンバス

しもだて美術館蔵

■ 瀬戸市美術館：北川民次



北川民次 《かまどの前の陶工》
1953年 油彩、キャンバス

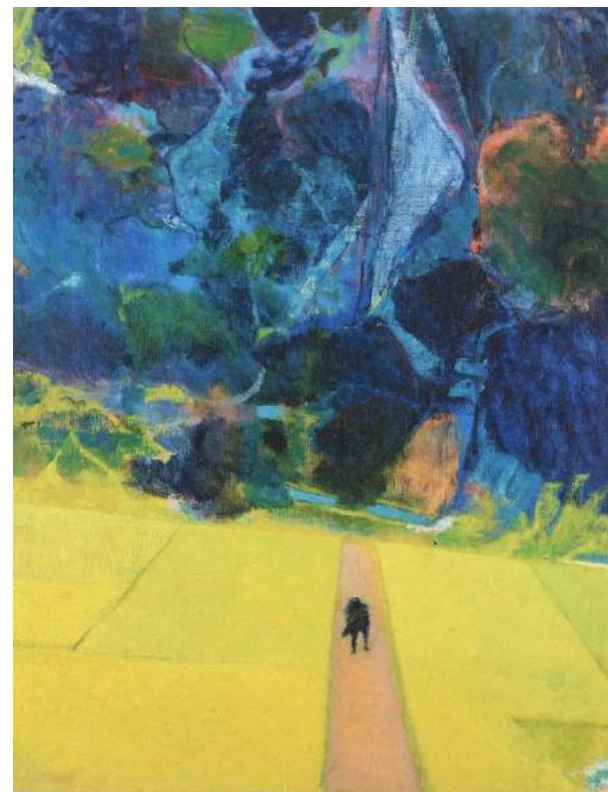
瀬戸市美術館蔵

■ 酒田市美術館：斎藤長三・今井繁三郎



斎藤長三 《冬景色》
1942年 油彩、キャンバス

酒田市美術館蔵



今井繁三郎 《稻田》
1978年 油彩、キャンバス

今井アートギャラリー蔵

《会期・会場》

第1会場：筑西展（茨城県）

会場：しもだて美術館

会期：2021年8月7日（土）～2021年9月26日（日）

開館時間：10時～18時（入館は17時30分まで）

休館日：8月10日（火）、8月16日（月）、8月23日（月）、8月30日（月）、9月6日（月）、9月13日（月）、9月21日（火）

入館料：一般600円（550円）（ ）内は10名以上の団体 ※板谷波山記念館入館券の半券提示で490円に割引

高校生以下、障害者手帳等をお持ちの方及び介助者1名は無料

毎月第3日曜日「家庭の日」（8/15、9/19）は高校生以下のお子様連れのご家族は無料でご入館いただけます。

主催：しもだて美術館、筑西市、筑西市教育委員会、第21回共同巡回展実行委員会

第2会場：瀬戸展（愛知県）

会場：瀬戸市美術館

会期：2021年10月2日（土）～2021年11月14日（日）

開館時間：9時～17時（入館は16時30分まで）、初日は午前11時開館

休館日：10月12日（火）、11月9日（火）

入館料：一般500円（400円） 大学生・高校生300円（240円）（ ）内は20名以上の団体

中学生以下、65歳以上、妊婦、障害者手帳をお持ちの方は無料

主催：瀬戸市美術館、公益財団法人瀬戸市文化振興財団、第21回共同巡回展実行委員会

第3会場：酒田展（山形県）

会場：酒田市美術館

会期：2021年11月20日（土）～2022年1月10日（月・祝）

開館時間：9時～17時（入館は16時30分まで）

休館日：12月6日（月）、12月13日（月）、12月20日（月）、12月27日（月）、12月29日（水）～2022年1月3日（月）

入館料：一般900円（800円）、高校生450円（400円）、中学生以下無料（ ）内20名以上の団体

障害者手帳をお持ちの方、およびその介助者1人の観覧料は、半額（20名以上の場合は団体料金の半額）となります

主催：公益財団法人 さかた文化財団、第21回共同巡回展実行委員会

共催：酒田市、酒田市教育委員会

特別協力：板橋区立美術館、豊島区

助成：一般財団法人地域創造

※写真をご使用になりたい場合は下記までご連絡ください。

【問い合わせ先】

第21回共同巡回展実行委員会

瀬戸市美術館（実行委員会事務局）担当学芸員：坊田・西野

〒489-0884 愛知県瀬戸市西茨町113 - 3

0561 - 84 - 1093

art@city.seto.lg.jp